

教育研究上の目的

麗澤大学

麗澤大学は、創立者・廣池千九郎が提唱した「知徳一体」の建学の精神に基づき、大学教育を通じて学生の心に仁愛の精神を培い、世界の平和、人類の幸福及び持続可能な社会の実現に貢献するため、研究・教授を行い、円満な知徳と精深な学芸、特に国際的識見を備えた有能な人材を育成することを目的とする。

外国語学部外国語学科

建学の精神「知徳一体」を基軸にした人格教育によって、多言語・多文化の平和的共存を実現するための包括的な価値観の形成及び人格陶冶を目指す。かつ国際教養教育により外国語・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えたグローバル化に対応できる国際的教養人を育成することを目的とする。

英語コミュニケーション専攻

英語の4技能（Listening、Reading、Speaking、Writing）を徹底的に磨きながら、英語による情報発信能力を高める。外国語の運用能力と「英語学」「英語教育」「異文化コミュニケーション」等の知識を統合した教養を実践的に活用できる人材を育成することを目的とする。

英語・リベラルアーツ専攻

英語の実践的運用能力（Listening, Reading, Speaking, Writing）を磨きながら、文化、社会、歴史を柱として幅広い知識を身につける。外国語の運用能力と文化・社会・歴史等の知識を統合したグローバルな教養を実践的に活用できる人材を育成することを目的とする。

ドイツ語・ヨーロッパ専攻（ドイツ語・ドイツ文化専攻）

徹底したドイツ語の語学力の涵養を基盤とし、留学プログラムを通じてコミュニケーション力と異文化能力、ドイツからヨーロッパへと広がる多様な価値観を身につける。ドイツ語と英語を駆使して情報を分析し、異文化とその多様性を理解し、自ら主体的に周囲と関わりながら問題解決にあたることができる人材の育成を目的とする。

中国語・グローバルコミュニケーション専攻（中国語専攻）

徹底した発音指導、留学プログラムなどを通して中国語の読み、書き、聞き、話す力を身につけ、中国語圏に関する歴史文化や社会経済の知識を活用しながら将来のビジネスシーンに対応できるスキルを学ぶ。中国語と英語の実践的な運用能力を涵養し、両言語で円滑なコミュニケーションを図ることができる人材の育成を目的とする。

国際交流・国際協力専攻【2019年度入学生以前】

多様な学習機会と実践体験を通して「4つのC」<Communication（コミュニケーション能力）、Compassion（共感する力、思いやる力）、Commitment（関わろうとする意思、行動力）、Capability（専門的な知識と技能）>を身に付けた、グローバルな視野を持ち、国際社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

日本語・国際コミュニケーション専攻【2019年度入学生以前】

日本語及び広く日本文化に通じ、多言語・多文化に理解を持ち、世界的視野に立って活躍する人材を育成する。また、文化や考えの異なる相手に対して自身の意見・考えを伝えられる力やコミュニケーション力を、英語及び日本語の双方で養成すること。さらに、留学生と日本人学生のコラボレーションを通じて、多文化共生の方法論を学ぶこと。以上、三点を目的とする。

経済学部

建学の理念である道経一体の考えに基づき、国際性と倫理性を備え、国際社会に貢献し得る人材を育成する。高い道徳力に支えられ、経済学・経営学に関する基礎的専門力を備えた人材、すなわち国際公共人を育成することを目的とする。

経済学科

道徳と経済の一体を教育理念として、国際性と品性を備え、かつ経済理論や経済政策に関する専門性を有する人材（経済学の理論に裏づけられた分析力を有し、現実の経済の分析と改善策を提言できる能力をもった経済専門家）を育成することを目的とする。

経済専攻

経済学という個人と社会を組みあわせる学問の基礎を学び、道徳と経済との関係性、経済倫理やガバナンスなどを通じて、経済社会で起こる問題の本質をつかみ、世の中にある多様な問題を専門的に解決できる人材を育成することを目的とする。

観光・地域創生専攻

経済学の理論を基盤に、観光と地域活性の方策を企画・運営することができる力を身に付ける。観光ビジネスの概要や、地域の課題を理解し、経済活動としての観光を多面的にとらえ、地域活性の方法として企画・運営できる人材の育成を目的とする。

経営学科

国際性と品性を備え、道経一体経営の理念をもって、21世紀に範を示す先駆的な経営を探究することによって、広い視野と深い洞察力を兼ね備えた経営エキスパートを育成することを目的とする。

経営専攻

経営者や起業家を筆頭に、あらゆる組織を運営、マネジメントする人材を育成し、リーダーに不可欠な経営センスと人間力を養う。少人数の体験方の授業、自ら考えて行動する実践型の授業を多く学ぶことにより、「よき経営人」として、他者と上手く連携し、組織をマネジメントできる人材に育成を目的とする。

会計ファイナンス専攻

あらゆる企業や組織に不可欠な経理・会計・財務・ファイナンスの専門家を育成する。全学生が日商簿記とファイナンシャル・プランナーの2つの資格を取得する。手堅い資格を2つ以上取得することで、金融、会計、ファイナンスなどの領域から、組織の運営、マネジメントをサポートする人材を育成することを目的とする。

AI・ビジネス専攻

経営学、会計学、データサイエンスを基盤に、AI技術をビジネス、金融分野に応用できる力を身につける。今日のAI技術の中核である機械学習の基礎理論を理解し、経営理論とデータ分析から導き出された科学的根拠に基づいて意思決定をすることのできる、文理融合型人材の育成を目的とする。

スポーツビジネス専攻

「スポーツ力」「経営力」「人間力」をキーワードに、スポーツを一生の仕事とするのに必要な理論・技術を修得する。地元プロサッカークラブチーム「柏レイソル」と教育連携を結び、フィールドワークやインターンシップなどを行うなど、ボランティアや外部企業と連携したプロジェクト型授業によって実践力をもつ人材を育成することを目的とする。

グローバル人材育成専攻【2019年度入学生以前】

高い品性に支えられ、世界の人々の安心、平和、幸福の実現を目的として活躍する人材を育成することを目的とする。英語で経済・経営を学ぶ。在学中に全員が留学することを目標に、徹底した英語教育と英語による専門科目の授業を受けることにより、語学+専門力の人材を育成する。

国際学部

グローバル社会で生き抜くコミュニケーション能力と人間力を身につけ、地球規模で生ずる様々な問題を把握し、それに対処していける人材、すなわち高い志と倫理観を備えたグローバルリーダーを育成することを目的とする。

国際学科

多様性を重視し、異質のものをつなぐ発想で、共生社会の実現に寄与することのできる

グローバル社会のリーダー的人材の育成を目的とする。

日本語学・国際コミュニケーション専攻

自分達の自明性の論理への気づきを基盤に、外国人留学生との共学環境を通じて多文化共生のメソッドを身に付ける。「Japan Studies」「多文化共生学」「国際関係論」などに関する専門知識をつなぎ、社会で実践的に活用することができる人材の育成を目的とする。

国際交流・国際協力専攻

英語を中心とした言語運用力、国際交流・国際協力分野の実践的な知識と技術を身につける。多文化共生の考え方にに基づき、国際協力・国際交流の知識と外国語の技術を活用し、実社会で自ら考え、行動することができる人材の育成を目的とする。

グローバルビジネス学科

「知徳一体」の精神に則り、「倫理性を備え、世界の人々と国内外で問題解決ができる力を身につけ、グローバルな舞台で活躍できるビジネスパーソンとなる人材の育成を目的とする。

グローバルビジネス専攻

ビジネスモデルの進化を踏まえて、経済学・経営学・社会学等を学際的に学ぶとともに、国際共通語としての英語の運用力、論理的分析力、異文化コミュニケーション力を身につける。グローバルビジネスの現場で多様な文化的背景を持った人々と問題に取り組み、解決することのできる人材の育成を目的とする。

麗澤大学大学院

本大学院は、建学の精神に基づき、学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

言語教育研究科

欧米やアジアなど世界の様々な言語を通して高度な専門知識を身につけ、教育機関や研究機関・国際的企業などで、有為な人材として貢献できる、仁愛の精神をもった教育者、研究者、実務家の養成を目的とする。

日本語教育学専攻

普遍的な言語理論と日本語学の成果とを踏まえ、それらの深化及び日本語教育学の理論的・実践的展開を図ることによって、日本語教育機関で活躍できる人材の育成及び研究者の養成を目的とする。

比較文明文化専攻

世界の諸文明と世界各地の文化を比較の観点から探究し、文明圏の交流や多様な文化に関する理解と認識を深める。地球と人類の未来を開拓する新たな文明の創造を志向しつつ、世界の平和と文化の保持・発展のため、教育研究職、国際機関等で貢献できる広い視野を備えた人材の育成を目的とする。

経済研究科

経済研究科は、経済学及び経営学における研究者及び専門家の養成を目的とする。

経済学専攻

修士課程として、経済学及び関連領域において先導的な研究を推進できる研究者及び実務専門家の養成を目的とする。内外の諸機関において求められる公共政策を担う人材を育成する。

経営学専攻

修士課程として、現代社会の要請に応えた学際志向、問題志向、政策志向を持ち、国際的な視点に立って先導的な研究を行い、公共機関、企業、NPOなどで高度な専門性を生かして管理業務を担うことができる研究者及び専門家の養成を目的とする。

経済学・経営学専攻

修士課程として、経営学及び関連領域において先導的な研究を推進できる研究者及び実務専門家の養成を目的とする。内外の諸機関において求められる問題解決能力を有する人材を育成する。

学校教育研究科 道德教育専攻

修士課程として、道德教育についての優れた実践的指導力を身につけた教員として指導ができ、深い専門的学識を持った研究者として研究ができる人材の育成を目的とする。

以上